

第18回 ありみね高校生学びの森

— 2022年6月19日(日) —

ニュースレター No.1

令和4年(2022年)6月20日(日) 有峰の動植物について調査活動
(猪根平、冷タ谷キャンプ場、桐山森林管理歩道、桐山三叉路)



桐山三叉路にて 2022.6.19



モリアオガエルの卵塊



ブナの雌花(堅果)



エゾハルゼミ♂

【概要】

令和4年6月19日(日) 第18回「ありみね高校生学びの森」第1回目(春季)を開催しました。

第1回目の参加者は、県内高等学校10校より講師12名と県内高等学校8校より生徒21名、合計33名でした。コロナ禍、参加に当たり、検温やマスク着用を徹底、36名乗りのバス乗車定員を最大17名/台、2台に分乗とするなど、参加者の健康管理・安全に配慮しながら実施しました。

バスは8時30分富山駅北口を出発、9時50分有峰到着、有峰ビジターセンターで先発の講師車と合流しました。

【はじまりの会開催】

10時10分より有峰森林文化村次長中川の挨拶後、リーダー福田講師より本日の活動内容、野帳の使い方について説明・指導を戴きました。引き続き参加講師及び生徒の自己紹介、参加への抱負などを伺いました。事前準備した有峰に生息している動植物の生体標本について各講師より紹介を戴きました。



挨拶する有峰森林文化村次長中川



はじまりの会で本日の学びの森の日程を説明中の福田講師

【小型哺乳類ネズミ類の観察】

福田講師より、「ありみね高校生学びの森自然観察ガイド」を活用し、有峰に生息するアカネズミとヒメネズミの特徴について説明を受け、昨日ネズミやヒミズなどの小型哺乳類を捕獲するために20個設置したシャーマントラップ(金属製の折りたたみ式箱形ワナ)で捕獲したアカネズミ2匹とヒメネズミ2匹合計4匹をプラスチックの水槽越しに観察しました。



捕獲個体計測中の福田講師



捕獲したネズミについて説明中の福田講師

【ブナの雌花(堅果)観察】

金子講師より、今年有峰で豊作が予測されるブナについての説明いただいた後、予め採取しておいたブナの雌花(堅果)の観察を行いました。



ブナの雌花(堅果)について説明中の金子講師

【有峰の両生類の観察】

堺講師より、直前に一時採集したモリアオガエル、アカハライモリ及びハクバサンショウウオについて、事前に撮影した生態写真とモリアオガエルの成体と卵塊、アカハライモリの成体、ハクバサンショウウオの卵のう、幼生の生体標本の両方を用い、これら両生類について説明をいただきました。



ハクバサンショウウオの生態について説明中の堺講師



事前に撮影したハクバサンショウウオの卵のう

【有峰の昆虫類の観察】

望月講師より、今有峰の全山で鳴いているエゾハルゼミや飼育中のヤママユやマイマイガ、ライトトラップなどについて説明後、エゾハルゼミ成虫のタウ標本、飼育中のヤママユとマイマイガ幼虫の観察を行いました。



ライトトラップについて説明中の望月講師



エゾハルゼミの成虫

ヤママユの終齢幼虫



【有峰の屋外実習】

有峰ビジターセンター内で講師からの説明のあと参加した生徒は、捕獲したネズミや両生類や昆虫類の生体標本をスマホやデジカメで撮影し、歓声を挙げていました。

次にバスで旧有峰ハウス外の広場へ移動のためバス駐車場に出たところ、野生のニホンザルの群れに遭遇、ニホンザルの生態を間近に観察でき、嬉しいハプニングとなりました。旧有峰ハウスでバスの下車後、アオダイショウとシマヘビにも遭遇、観察、野帳に記録しました。

【哺乳類調査】10:40～10:55

哺乳類調査は、福田講師指導の下、実施しました。シャーマントラップについて福田講師に説明いただいた後、参加者全員で見学・観察を行いました。参加者は、福田講師の説明内容を野帳に記載したり、設置されているシャーマントラップをデジカメやスマホで撮影していました。



捕獲用に設置したシャーマントラップ



シャーマントラップ観察中の参加者

このあと旧有峰ハウス裏側では、**1班 2班の 2グループ**に分け、「両生類の調査」と「植生の調査」のそれぞれ20分サイクルで入れ替わり調査活動を実施しました。

【両生類調査】11:00～11:55

両生類調査は、堺講師指導の下、旧有峰ハウス裏のため池付近で実施しました。旧有峰ハウスの裏のため池付近の調査地点は、ため池とため池横の窪地の2箇所です。調査開始前、堺講師より、ため池の成り立ちや、有峰の植生の概要説明を受けた後、天候、気温、水温、pHのデータを野帳に記録するように指導を受けました。

ため池では、モリアオガエルの卵塊を5個とクロサンショウウオの卵のうが池の底部に数対沈んでいる様子を観察しましたが、卵の中には胚を確認できませんでした。今年は発生が進んでおり、幼生をタモ網で捕獲後、観察を行いました。堺講師よりクロサンショウウオの生態について説明を受けました。ため池横の窪地では、発生が進んだヤマアカガエルと思われるオタマジャクシとクロサンショウウオの幼生とヤゴを発見、観察しました。参加者は、堺講師の説明に対し、野帳に熱心にメモを取っていました。



ため池でクロサンショウウオの卵のう観察中の堺講師と参加生徒



クロサンショウウオについて説明中の堺講師と参加生徒



クロサンショウウオの幼生観察中の参加生徒



オタマジャクシ観察中の参加生徒

【植生調査】11:00～11:55

森林の階層構造と植生調査は、金子講師指導の下、旧有峰ハウス裏の永遠の木(ブナとミズナラが絡み合って生育している木)付近の森で実施しました。

金子講師より、方形区毎木調査法、「(16m×16mの方形区の位置(XmとY m)、樹高(m)、幹の胸高周囲(cm)、葉の広がり(長形mと短径m)を計測する。)」について概要、この森の代表的な樹種や樹木の分布、階層構造の分析についても概説いただきました。



方形区毎木調査法について説明中の金子講師と参加



方形区毎木調査中の参加者



ブナを説明中の金子講師と参加者



コンパスの使用法説明中の金子講師と参加者

【昼食】(冷タ谷キャンプ場)12:20～13:00

12:00旧有峰ハウス駐車場前を出発し、冷タ谷キャンプ場にて昼食です。

参加者は、ロッジ内や外に設置してあるテーブル・キャンプ場内のベンチなど間隔をとり昼食としました。



冷タ谷キャンプ場ロッジ内で昼食中の参加者

【桐山管理歩道での森林生態系の観察】13:15～14:00

桐山遊歩道での森林生態系の観察は、金子講師指導の下、ゆっくり歩きながら実施しました。桐山管理歩道には、ブナ、ミズナラ(2mの樹高で伐採され萌芽を形成したあがりこ)のほか、クロベ(アスナロ)、ハウチワカエデやウリハダカエデなどのカエデ類、ヤマウルシやミズバショウなどが分布しています。金子講師には、樹種、森林生態系について分かりやすく解説いただきました。



カエデ類の特徴について説明中の金子講師と参加生徒



観察したミズナラのあがりこ



葉っぱの裏にいた昆虫を撮影中の参加者



桐山の森を観察中の参加者

【桐山三叉路での水生生物調査】14:00～14:20

桐山三叉路付近水路では水生動物調査を実施しました。調査に先立ち、堺講師が、事前に、水生動物を捕獲され、参加者全員で、この水路とこの水路に流れ込む沢で採集したヒダサンショウウオや水生昆虫のカワゲラ類、カゲロウ類の幼虫やヒルなどを観察、これらの生物の生態について堺講師より解説いただきました。参加した生徒は、これらの生物を直に触り、感触を確かめていました。改めて実地研修の大切さを再認識しました。



ヒダサンショウウオについて説明中の堺講師と参加者



桐山三叉路にて水生動物観察中の参加生徒



ヒダサンショウウオ観察中の参加生徒

【冷タ谷キャンプ場ロッジにて振り返りの会実施と次回(夏季研修)の連絡】14:30～15:20

冷タ谷キャンプ場ロッジに戻り参加した生徒には感想文とアンケートを、参加講師の先生方にはアンケートを記入戴きました。

15時から振り返りの会を開催、福田講師より総評を 有峰森林文化村次長中川の閉会の挨拶 霜鳥主任指導員より次回(夏季研修)の連絡を行いました。

冷タ谷キャンプ場を15時30分出発、帰路に着きました。



振り返りの会で本日の学びの森の総括を述べる福田講師

活動MAP

令和4年6月19日(日)

